

令和元年度 秀峰園事業報告

令和2年6月1日
秀峰園 松藤 義徳

1、職員配置

令和2年3月31日現在

管理者 1 サービス管理責任者 1 目標工賃達成指導員 1
生活支援員 3 (1) 職業指導員 (2) 調理員 (2) 嘱託医 (1)
※ () 内の数は非正規職員

2、開所日数・利用者数・出勤率

令和元年度は、24名で始まり、5月に1名入所と1名退所。6月に1名入所。8月に1名退所。10月に長期入退院を繰り返していた利用者が1名死去、1名入所。最終的に24名の登録となりました。

	開所日数	利用者数	実利用者数	延利用日数	出 勤 率	出勤率 (20名)
4 月	23 日	24 人	24 人	441 日	79.9 %	95.9 %
5 月	22 日	25 人	25 人	417 日	75.8 %	94.8 %
6 月	23 日	24 人	23 人	434 日	78.6 %	94.3 %
7 月	23 日	24 人	23 人	446 日	80.8 %	97.0 %
8 月	22 日	24 人	23 人	445 日	84.3 %	101.1 %
9 月	22 日	24 人	23 人	443 日	83.9 %	100.7 %
10 月	24 日	25 人	24 人	484 日	80.7 %	100.8 %
11 月	23 日	24 人	24 人	466 日	84.4 %	101.3 %
12 月	22 日	24 人	24 人	449 日	85.0 %	102.0 %
1 月	22 日	24 人	24 人	442 日	83.7 %	100.5 %
2 月	21 日	24 人	24 人	424 日	84.1 %	101.0 %
3 月	23 日	24 人	24 人	450 日	81.5 %	97.8 %
合 計	270 日	290 人	285 人	5,341 日	81.9 %	98.9 %

3、平均年齢・平均通所年数 （男 14名 ： 女 10名）

平均年齢	57.75歳	（男 57歳	：	女 58歳）
平均通所年数	13.78年	（男 13.15年	：	女 14.41年）

4、作業支援

縫製班

下請け作業

アンネルについて、布団の側縫い作業を安定した受注を受ける事が出来ました。

盛和について、フレコン（フレキシブルコンテナバック）の部分縫い作業の受注を安定して受ける事が出来ました。

まこと通信について、不定期ですが、まこと通信折り込み作業も受ける事が出来ました。

出勤状況を毎日確認し、受注調整をしながら、利用者に出来る限り作業を提供し納品を行いました。

自主製品

きょうされんふきんについて、夏、冬にある程度大きな受注があり、受注に対応できるふきんの枚数を計画的に作る事が出来ました。今後もふきんのクオリティを維持しながら、売り上げを伸ばしていけるよう取り組んでいきます。

自主製品（小物）については、大量生産は出来ていませんが、クッションや枕・枕カバー等、売り上げを伸ばした商品もありました。今後は、コロナウイルスの関係で布マスク等を作って販売していきたいと思います。

軽作業班

下請け作業

利用者の作業が足りない現状もあり、「牛嶋内職」のチラシセット作業と「中村製作所」のウレタン張り作業。「早雲商事」よりのし茶分別作業を取り入れました。

色々な決まり事や確認事項を覚えてもらう事もありますが、利用者の多くの方に作業を提供する事が出来、毎日安定して作業を行ってもらいました。

施設外就労

収入面や対外的に秀峰園にとって必要な作業として、「リネン作業」と「清掃作業」の2つの施設外就労を取り入れました。

リネンや清掃は決められた方法やルールがある事や体力面、外部での作業となる為挨拶や建物、備品の破損等、気を付けなければならない事が沢山ありますが、やり甲斐のある作業を契約する事が出来ました。

リサイクル作業

毎週決められた回収先に周りながら、電話による追加先に回収に行きながら、安定した回収量を確保して行きました。しかし、単価が下落しリサイクルの収入は減収しました。収入を上げるよう雑品を解体、選別し、中の金属や部品を仕分けする作業を行いました。

また、今後は週2回、段ボールと雑誌を業者が取りに来なくなったため、自分達で納品をし収入を上げていきます。

リサイクル作業は、回収を通じて、地域の方との繋がりにもなっているので、今後は収入面が増収するよう努めたいと思います。

役務

毎年依頼していただくお客様を中心に、そこからの紹介等での新規のお客様もあり、今年も安定した受注がありました。

夏場を中心に受注を受けますが、家の片づけ等、地域の方が困っている事を冬場にも作業を受ける事も出来ました。

販売

催事販売は、地元開催を中心に出来る限り参加しましたが、天候や災害の理由による中止が多くありました。

施設販売は、お客様の要望に沿った仕入れ商品を取り入れ、売り上げを上げて行きました。今後も安定した販売が出来るよう努めたいと思います。

道の駅などの委託販売は、英彦山が一年間安定して売り上げがあった事や「チョコボン」等、冬場限定の商品を販売し、売り上げを上げて行きました。

加工

「ポンせんべい」を中心に販売や納品に合わせて、質・量ともに生産する事が出来ました。加工に携わる利用者を増やす事が課題ですが、作業を効率よくやっています。今後は、新商品を開発すべく、情報収集しながら、取り組んで行きたいと思います。

5、作業班人数及び工賃支払状況

下半期	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
縫製班（9名）	782,151	144,922	194,132	169,485	141,063	131,778	135,252	1,698,783
軽作業班（15名）	1,422,590	239,126	228,823	291,847	228,771	209,471	245,931	2,866,559
工賃総額	2,204,741	384,048	422,955	461,332	369,834	341,249	381,183	4,565,342
縫製班（平均）	14,484	16,102	21,570	18,832	15,674	14,642	15,028	
軽作業班（平均）	13,947	15,942	15,255	19,456	15,251	13,965	16,395	

6、利用者支援

「仕事をしたい」「お金を稼ぎたい」という思いを大事にし、作業を中心としながらも障害の配慮や見守りを重視しました。また作業以外でも利用者の喜ぶ事、求めている事は何かと考え、可能な限り実行してきました。

長期欠勤、入院、手術や死去もありましたが、秀峰園に元気な限り通いたいという利用者が増えて、人生の最後の部分に関わる事が多くなりました。利用者ともしっかりと話す中で、楽しく生きれるように秀峰園を利用してもらうにはどうすればいいのかと考えながら支援をしています。

病院を通院しても秀峰園を利用出来るよう送迎支援をしました。独居の方も多く、大半が車を運転出来ないか、家族の支援がない為、入院手続きや付き添いも支援しました。市役所からの書類の説明や提出、手続きや更新の支援も行いました。聾啞者に対しては、職員が手話を使い、コミュニケーションを取り、意思の疎通が出来るという安心もしてもらいました。

7、生活支援

健康管理

毎朝ラジオ体操や検温を行っているので、体温の変化もすぐに分かり、体調不良の早期発見に繋がりました。インフルエンザの予防接種に行けない方は秀峰園で連れて行きました。また、年2回行っている田川診療所による健康相談で身体に対する注意点や改善点を本人と職員に指導していただきました。

医療情報財団による年2回の健康診断は出来る限り受診してもらうよう声掛けをし、再検査の診断が出た方には病院に行くよう促し、必要ならば家庭に連絡、報告しました。

健康相談や健康診断を通じて、体調や精神状態を把握し、安定を図りながら、秀峰園に毎日出勤出来るような健康状態を作るよう声掛けしました。

防災管理

年2回の避難訓練（避難誘導・消火・通報）を利用者に実施日は伝えず、実際の火災に想定した意味のある避難訓練を行っています。聾啞者は特にサイレンが聞こえないので、秀峰園で設置しているパトライトの点灯を確認出来たか、職員が火事だとスムーズに伝える事は出来たか等、館内放送、避難経路、誘導、避難場所の確認をし、最後は水消火器での消火訓練を行いました。

8、職員研修

利用者に対する支援や食品を扱う上での知識、スキルの習得の場とする事と職務上必要な能力や専門性が身に付くように、また、他業種の考えや情報を得る事により、人間の幅を広げ一層のサービス向上や教育、自己啓発や成長にも繋げていく事を目的に、様々な研修と運動に参加しました。

4 / 1 4	基本合意をめざす会
5 / 9	たんぽぽ後援会
6 / 6	たんぽぽ後援会
6 / 1 3	安全運転管理者講習
6 / 1 8	障害者週間を考える連絡会事務局
6 / 2 1	食品衛生及び食品表示講習会
6 / 2 2	たんぽぽ後援会総会
7 / 4	たんぽぽ後援会

7/5	福岡県集団指導
7/9	食品衛生講習会
7/13	きょうされん福岡支部運営委員会
7/16	障害者週間を考える連絡会事務局
7/30	メディ・ウェル ミーティング
8/1	たんぽぽ後援会
8/31、9/1	きょうされん職員学習交流会
9/5	たんぽぽ後援会
9/10	ケア・キュアカンファレンス
10/15	障害者週間を考える連絡会事務局
10/24	福岡県食品表示法説明会
11/7	たんぽぽ後援会
11/17	基本合意をめざす会
11/19	障害者週間を考える連絡会事務局
11/20	年末調整説明会
11/23	福岡県人権問題研究集会
11/24	川崎特別支援学校40周年記念式典
11/30	たんぽぽ後援会学習会
12/4	川崎町人権講演会
12/5	たんぽぽ後援会
12/7	しあわせの会
12/28	利用者ケース会議
1/7、8	基本合意をめざす会10周年記念集会
1/9	たんぽぽ後援会
1/28	障害者週間を考える連絡会事務局
2/6	たんぽぽ後援会
2/20	サービス管理責任者更新研修
3/17	障害者週間を考える連絡会事務局

9、行事活動

個別支援計画書や日常でやりたい事や行きたい所を利用者から意見を吸い上げ、土曜日の取り組みや友の会の行事で取り組みました。

4月	・友の会主催花見（直方チューリップ祭り） ・がんばるデイ（街頭署名活動）	
5月	・県北ブロック風船バレーボール大会	・ハッピードリームサーカス観覧
6月	・個別支援計画書説明、秀峰園利用契約更新 ・川崎社協バスハイク	・夏の物販
7月	・軽作業班食事会	・幸の鳥一座公演会 ・健康相談
8月	・大掃除、ボーナス ・映画鑑賞「あの日のオルガン」	・そうめん流し ・ボウリング ・野球観戦 ・健康診断
9月	・野球観戦 ・東鷹高校定期演奏会 ・友の会日帰り旅行（門司港レトロ）	
10月	・避難訓練	・秀峰園まつり
11月	・冬の物販	・川崎福祉まつり ・健康相談
12月	・がんばるデイ（街頭署名活動） ・縫製班 忘年会	・軽作業班 クリスマスパティー ・秀峰園忘年会 ・大掃除、ボーナス
1月	・初参り、新年会	・街頭署名
2月	・街頭署名	・木下大サーカス観覧
3月	・避難訓練	・健康診断 ・友の会総会

利用者のニーズを取り入れ、職員会議等で十分に協議を重ねながら、必要に応じて、バス等を借用し、安全に楽しめるものを提供出来ました。